

経営学委員会分科会の設置について

分科会等名：ダイバーシティと仕事のあり方に関する検討分科会

1	所属委員会名	経営学委員会
2	委員の構成	10名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	日本企業で働く人材は、いわゆる日本的経営の有効性が喧伝されていた 1980 年代には、「長期間にわたり同一企業で働き続け、企業への忠誠心が高い男性正社員」という像が暗黙のうちに念頭に置かれていた。しかし、昨今ではこうした画一的な人材像は一変し、女性や高年齢者、障がい者など、多様な属性の人材が活躍できる経営環境の実現が喫緊の課題となっている。 人材の属性の多様化に加え、雇用形態の側面においても非正規社員が増大し、仕事の時間・場所についても裁量労働制や在宅勤務をはじめ、多様な制度が導入されつつある。各自の働き方や仕事に対する意味づけも、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の考え方が次第に普及し、各自が仕事のあり方を主体的に選択するようになりつつある。 しかし、日本企業がこうした各種の多様性をいかに取り込み、経営に活かしていくかの具体的方途については現時点でまとまった知識体系は存在せず、未だ手探りの状態にあると言わざるを得ない。 当分科会では、こうした現況に鑑み、「ダイバーシティ」（多様性）を鍵概念に据え、学術的な観点から「仕事のあり方」を多角的・総合的に検討を加える。日本企業や組織における仕事のあり方の多様な発展可能性を探り、「ダイバーシティ」の考え方を進めることによって生まれる変化や果実を明らかにしながら、日本社会にとって有意義な政策提言を最終的に目指すものである。
4	審議事項	1 多様な属性の人材が活躍できる仕事環境について 2 仕事の時間および場所の多様性について 3 仕事の意味づけの多様性および生活との調和（ワーク・ライフ・バランス）について
5	設置期間	時限設置 常設
6	備考	※新規設置